

# 富山で小水力発電

## 深松組 収入で簡易水道新設

事業を組み合わせる手法を提案。信託の手法を活用した地域活性化で実績のある、すみれ地域信託（岐阜県高山市）と事業スキームを考案した。

【仙台】土木建築業の深松組（仙台市）は富山県で小水力発電事業を始め、100世帯余りが利用する簡易水道施設も新設する計画で、必要な費用に売電収入をあてる。

開始で合意しており、2020年の事業開始を目指す。過疎地での社会インフラの維持が大きな課題となるなか、新たな手法として注目される。

で100世帯余りが居住する。最大出力200キロワット程度の発電設備と水道施設を設置。総事業費は5億円程度を見込む。

深松組は水道関連施設の新設や維持管理費を確保するため、小水力発電

予定地は富山県東部の朝日町笹川地区。山間部

の深松組は水道関連施設の新設や維持管理費を確保するため、小水力発電

参画し、関連する土木工事なども請け負う。

